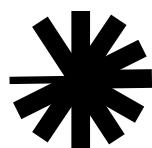


2018
3月号

原水協通信

国連NGO原水爆禁止日本協議会

毎月1回6日発行

額価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-2-4



原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

国連が採択した

核兵器禁止条約を力に

核兵器のない世界、非核平和の日本の実現を



▲元気をもらった被災64年2018年3・1ビキニデー集会（焼津）

昨年7月7日に採択された核兵器禁止条約後、初めて迎えるビキニデーです。世界・全国から1500人のピースメッセンジャーが原水爆禁止運動の原点の地に参集しました。大阪からは、44名が集会成功に力を發揮しました。

日本被団協の和田征子さんは、「核兵器禁止条約が採択されたことは、重く鑄び付いた扉が開き、そこから光が差したように思う。核兵器廃絶という世界共通の願いが実現されるためには、禁止条約が

一方で、北朝鮮の核開発問題、米トランプ大統領によるNPR（核態勢見直し）などこの間の国際情勢の危機感についても市民が立ち向かわなくてはならないことを強調する発言も多くありました。

米・比・韓の海外代表からは「戦争を煽る国家のプロパガンダに対して、平和を求める市民は真実を広く知らせることが抵抗しなければならない」とPost-truth（脱眞実）に対抗する役割的重要性について述べました。今、日本でも安倍政権の下で真実が捻じ曲げられた政治が行われていますが、日本に住む私たちは真実を武器にして平和を守つていく必要があると感じました。

高齢となつた被爆者から若い世代が反核・平和運動を引き継いでいくことが喫緊の課題として挙げられていましたが、実際に見聞きし、考え、実践することでの成長し、活動も大きくなつて行くよう

に思います。夏の原水爆禁止世界大会、来年の3・1ビキニデーには沢山の青年と一緒に参加したいと思いました。（大阪平和委員会事務局員 山本樹）



大阪から参加した青年の多くは初めてのビキニ集会でしたが、帰りのバスの中で「知らないことだらけで、学ばなければならぬことだらう」と思つた。「ビキニ事件の被災者に対する国が何もない。基本的人権を蔑ろにした政治が続けられていることがおかしい」など

「一筆の署名の力について学んだ、大阪に帰つてからどん

ヒバクシャ国際署名（2月28日現在）

29万6301筆

とりくみの結果をよろしくお願ひします！

◇堺市◇岸和田市◇高石市◇泉大津◇和泉市◇泉佐野市◇貝塚市
◇泉南市◇阪南市◇富田林市◇箕面市◇豊中市◇高槻市◇摂津市
◇八尾市◇藤井寺市◇河南町◇忠岡町◇島本町◇千早赤阪村

※平和首長会議（日本国内1717都市、大阪府内は全自治体が加盟しています）

原水爆禁止運動の原点
被災64年3・1ビキニデー集会成功

